

実施報告

別海町立西春別小学校

* 学級数 6 * 児童数 44 名

支援員学校名	職名	氏名	専門分野
北海道根室高等学校	教諭	松田 暁 洋	物理

【ねらい】 第6学年「電気の利用」の単元において、児童の興味・関心を高め、学習内容の定着を図るための教材の工夫や、単元の系統性を生かした授業改善のポイントについて理解する。

【日 時】 9月27日（水） 13：15～15：40

【場 所】 別海町立西春別小学校 理科室

【参加者】 教員12名、第6学年児童6名

【内 容】 ・第6学年「電気の利用」の単元における児童の興味・関心を高める教材の工夫（児童も参加）
・単元の系統性を生かした授業改善についての説明



【本事業の成果を活用した授業の改善】

支援員から学んだことを踏まえ、児童の興味・関心を高める教材の工夫や、既習事項を踏まえた考察など、単元の系統性を生かした授業改善に取り組んだ。

1 興味・関心を高める教材の工夫

(1) 身近な素材を生かしたものづくり

- ・紙コップやクリップなどの身近な素材を活用し、児童が簡単に作製できる教材を工夫した。
- ・日常生活の中で見られる「クリップモーター」や「紙イヤホン」等、電気の性質を活用したものづくりにより、児童が電気をより身近に感じるとともに、科学的な原理について実感を伴った理解を促すことができるよう工夫した。



(2) 授業での児童の様子

- ・電気の性質を活用したものづくりを通して、児童はモーターやイヤホンの仕組みを考えながら調べ、電気の性質や働きについて実感を伴いながら理解を深めることができた。
- ・電気の性質を活用したものづくりを通して、理科の楽しさを感じるとともに、「もっと知りたい」、「もっと調べたい」等、児童の課題意識が発展していった。



2 単元の系統性を生かした授業改善

(1) 単元の系統性を生かした指導の工夫

- ・第3～5学年で学習した「電気」に関する学習内容を振り返ったり関連付けたりする活動を授業に位置付けることにより、第6学年「電気の利用」の単元における児童の理解を深めることができるよう指導を工夫した。

(2) 授業での児童の様子

- ・既習事項と関連付けながら実験結果を踏まえた考察を行い、互いの考えを交流していた。